



本番間近! 大学入試改革  
夏の教育セミナー

8月1日(木)

札幌

13:00 ~ 17:30 (交歓会 ~ 18:30)

講演者

(敬称略) ※8/1 現在

基調講演

大学入試改革



白井 俊

独立行政法人  
大学入試センター  
試験・研究統括補佐官  
(兼) 審議役



文部科学省

特別講演①

大学のアドミッション・ポリシー



北海道大学

長谷川 晃

理事・副学長



特別講演②

留学促進・支援



田口 和哉

文部科学省官民協働  
海外留学創出プロジェクト  
「トビタテ! 留学JAPAN」  
日本代表プログラム」  
高校生コース担当



トビタテ!  
留学JAPAN

分科会

授業実践 [英語]



山本 崇雄

新渡戸文化小中高校 教諭

新渡戸文化小中学校・高等学校英語科教諭、横浜創英中学校・高等学校教育アドバイザーの他、日本パブリックリレーションズ研究所主任研究員、アルクテラスClearコミュニティデザイナー、ゲイトCSR教育デザイナーなど複数の企業でも活動。東京都立中高一貫教育校を経て2019年度より現職。2017年に新しい教育のあり方を提案するプロジェクト「未来教育デザインConfeito」を設立。検定教科書 [NEW CROWN ENGLISH SERIES] (三省堂) の編集委員を務めるほか、著書に「なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか」(日経BP社)、「「教えない授業」の始め方」(アルク)、「学校に頼らなければ学力は伸びる」(産業能率大学出版部) ほか、監修書に「21マスで基礎が身につく英語ドリルタテ×ヨコ」シリーズ(アルク)がある。

**message** 変わりゆく社会の中で、英語の授業をどうアップデートしていけばいいのでしょうか。本分科会では、教師が生徒に「教える」から、教師と生徒がともに「創造する」授業デザインを具体的な事例と体験を通して提案していきます。

分科会

授業実践 [数学]



酒井 淳平

立命館宇治高校 教諭

立命館宇治中高でキャリア教育部の立ち上げを行う。2018年度より学年主任・研究主任として、文科省より研究開発学校(2018年度)、WWL(2019年度~)の指定を受けて総合的な探究の時間のカリキュラム作りや実践を中心となって進めている。ほかに数学検定教科書(啓林館)協力者など。

**message** 数学の授業を通じて育てたい力を考えて授業の中で実践したときに、結果的に新テストにも対応した授業になります。本分科会では新テストの傾向をふまえて、数学を通じて育てたい力や授業のあり方を考えます。

分科会

授業実践 [国語]



齋藤 祐

中央大学附属高校 教諭

東京学芸大学卒業。2005年より中央大学杉並高等学校教諭。2018年4月より中央大学附属中学校・高等学校に期限付きで異動中。三省堂高等学校国語教科書編集委員。NHKラジオ高校講座「国語総合」、Eテレ「国語表現」監修講師。都留文科大学非常勤講師。

**message** 探究学習って教科学習と何が違うの? ルーブリック評価は定期テストの代わりになるの? AIやICTがもっと身近になったら、教員の役割っていったい何? 今こそ学校が存在する意義を、いっしょに考えましょう。

分科会

授業実践 [探究]



北尾 悟

奈良女子大学附属中等教育学校 副校長

奈良県立高校教諭、私立立命館宇治中高等学校教諭を経て、08年から現任校、副校長として3年目。専門は社会科、「問いで深める歴史の授業」と名づける探究型授業に初任から取り組む。「総合的な学習の時間」導入以前の96年、公立の普通科進学校で、他教科の同僚と全員必修の総合学習「探究」を立ち上げ、初代探究科主任として、若手教員も担当できる授業書づくりも進めた。現任校では、高大接続型の「探究」学習カリキュラムの実践研究を進めている。

**message** 長年、教科や総合の中で「探究的な学び」にこだわってきた経験を活かし、「本質的な問い」の立て方や授業構造を探究的に転換する工夫など提示したいと思います。あわせて、SSHの研究実践の中で積み上げてきた「理数融合授業」や「課題研究ロードマップ」といった取り組みについても本校理科教員から紹介させていただきます。

会場 ニューオータニイン札幌

アクセス

JR「札幌」駅より徒歩8分  
地下鉄南北線「さっぽろ」駅より徒歩6分  
地下鉄東豊線「さっぽろ」駅より徒歩3分  
(地下鉄「さっぽろ」駅 22番出口より徒歩1分)

所在地

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1-1-1

